



認定特定非営利活動法人 防災・減災サポートセンター

## **いま、もう一度、通学路をみなおそう**

いつもの通学路で災害を想定して、危ないものがないかどうかをみてみよう。

落ちてくるもの、倒れてくるもの、こわれそうなものなどを知っておく。その気になると、見えてくるものがあります。

## **3 面のへんかは、なにかのしるし**

道路に凹凸があったり、きれつがあると災害の時にそれがずれたり陥没したり

します。また、水害の時に水たまりになったりして、事故の原因にもなります。

いつもと大雨があった後などにもみておくとよい。

## **ば しょばしょ 所 でおきるさいがい 災害はさまざま**

災害はさまざまなところで起きています。がけくずれ、土石流といって沢から

にごったたくさんの土砂が出てきたりします。また、広い範囲で土地がすべつてくることもあります。

## **に つぎ さいがい 災害への ぞな 備え**

災害はいつおきるかわかりませんので、備えをあとまわしにしがちですが、

安全がなにごとよりも大事なことであると思って、自分でできるものは早めに

準備しておくとうよい。